

編集後記

最近、複数の透析クリニック関係の方々から、経営逼迫の話を聴いている。その大きな要因は、診療報酬抑制と患者数減少、材料費と人件費の上昇だという。新規導入患者を含む透析患者数の減少は2022年から確認され、これにはコロナ禍の影響が指摘されていた。しかし、あくまで個人の感想だが、過去10年間の慢性腎臓病に対する薬物療法の成果が大きいと思っている。SGLT2阻害薬、MRA拮抗薬、ネプリライシン阻害薬などの登場以前と以後との間では患者の臨床経過が違うことを実感していたので、新規導入患者数の減少は不思議に思わなかった。昔、若手医師に対して、「腎臓内科医としてのわれわれの究極の目標は失業である」と話して彼らの目を

白黒させてしまったことを思い出したが、それが冗談ではなくなってきた。

さて、透析患者総数の減少はコロナ禍以前から予想されていた。透析患者の粗死亡率は過去10年を振り返っても改善していないのである。この事実は大きい。筆者は、国民の年齢別平均余命を透析患者においても達成することは、透析医療の一つの目標だと思っている。透析医療の医学的・技術的課題を一つでも解決していくことが患者予後の改善につながると考えている。本特集号はそのような思いから企画した。技術の改善や革新は、治療法進歩の根幹であり、本企画がそれを再確認する契機になればと期待している。

(中山昌明)

2026年(Vol. 42)特集のご案内

- No.① 患者参加型医療として透析を考える
—SDMとACP—
No.② 人工知能を活用した透析医療の最適化

- No.③ 透析治療システムの生体適合性—基礎的知見から患者報告アウトカムまで—
No. 4 透析技術の最前線

(既刊は○)

臨牀透析® Vol.42 No.3

©2026年3月10日発行
定価：2,860円
(本体2,600円＋税10%)

- ・2026年 年間購読料(増刊号含む13冊、税込)
冊子版 39,050円
電子版(個人のみ) 39,050円
冊子版＋電子版(個人のみ) 44,550円
(詳しくはホームページをご覧ください)
- ・年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込みください。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp URL <https://www.nmckk.jp>

印刷所 シナノ印刷株式会社

・Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2026, Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所／株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-9-5 NK本郷ビル 電話(03)3814-8541